

平成 25 年度実施 大網白里市住民協働事業 報告書

事業名	「ゆめの木」運営事業		
事業主体	実施団体	市（関係課）	
	児童館設立プロジェクト	子育て支援課	

事業費	予算額	決算額	市補助金額（交付確定額）
	355,000円	329,892円	300,000円

【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、

○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

市内には、子どもたちが安全に遊べる場所や、親子や地域の方が気軽に交流する場が少なく、子育ての孤立化も懸念されている。これらの課題を解消するために、親子や地域の方が、遊びやおしゃべりを通じて自由に交流する場「ゆめの木」を提供し、地域の子育てを見守ることを目的とする。

「ゆめの木」は毎週水曜日と木曜日、「出前ゆめの木」は毎月第1金曜日、「ゆめの木サンデー」は毎月第3日曜日に、市内富田会場および大網白里市中部コミュニティーセンターにて実施した。対象は子どもとその保護者および一般。事前の予約は不要で、時間内の出入りも自由とし、誰でも自由に参加できるようにした。

会場ではおもちゃや絵本などを用意し、自由遊びやおしゃべりなどで交流するほか、ニーズに応じて読み聞かせや手遊び、折り紙や簡単な工作などを行った。

子どもたちは、よその子と一緒に遊ぶことで、楽しみながらさまざまな経験をすることができた。また、保護者は、いきいきと遊ぶ子どもたちを見守ったり、地域の方と交流することで、子育てや生活に関する情報を得たりリフレッシュすることができた。

活動は概ね好評で、参加者アンケートを実施したところ、子どもが楽しく遊べる、天候に関係なく遊べる、自由な雰囲気、保護者がリフレッシュできる、予約が要らないなどを参加理由に挙げる方が多かった。

今年度（2月末現在）の参加登録者は、103組（大人100名、子ども229名）で、このうち市内在住は91組だった。また、2回以上参加したのは全体のうち49組で、リピート率は47.6%だった。

これらの結果から、市内の子育て世帯に対し広く活動を提供できたとは言えないが、参加した方々に対してはある程度の満足度が得られたと評価している。

【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<p>1. 「ゆめの木」の企画、運営</p> <ul style="list-style-type: none">①活動内容の企画立案②実施計画の作成、運営③必要な備品の購入、保管④会場の設営、撤収⑤会場への備品の搬入、搬出⑥参加者の情報管理⑦実施時のスタッフ常駐⑧レクリエーション保険加入 <p>2. プロジェクト通信「児童館をつくろう」の発行、印刷、配布</p> <p>3. 活動の告知</p> <ul style="list-style-type: none">①広報大網白里②ポスター、チラシの作成③団体ホームページ、ツイッター	<ul style="list-style-type: none">・「出前ゆめの木」実施会場の確保・実施団体の市民への周知のための広報活動（市広報紙、子育てサポートブックへの掲載等）

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<p><input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 前年度からの活動を継続したもので、団体として無理のない役割分担だった。 施設予約や調整を子育て支援課に担当していただいたことで、年間計画に沿った安定した事業運営ができた。これにより、参加者の利便も向上した。</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)</p>

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容 (実績) を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
<p>1. 「ゆめの木」の実施</p> <p>親子や地域の方が自由に交流する場「ゆめの木」を提供し、遊びやおしゃべりを通じて、地域の子育てを応援する。活動形態は、以下の3通り。</p> <p>①ゆめの木 (富田会場) 毎週(水)(木) 午前10時から午後3時。 お盆期間と年末年始は休み。 下記の日程の中で2回程度、大網白里エコパーク子ども村にて野外遊びを実施。 《日程》 全90回 4月 3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25 5月 2, 8, 9, 15, 16, 22, 23, 29, 30 6月 5, 6, 12, 13, 19, 20, 26, 27 7月 3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25,</p>	<p>1. 「ゆめの木」の実施</p> <p>参加者は、未就園児、未就学児とその保護者が中心となったが、春休み、夏休み期間などは幼稚園児や小学生も来場し、参加者が増加した。</p> <p>①ゆめの木 (富田会場) 概ね計画通り実施。 下記の2回を除く、88回を実施。 参加人数は、のべ667組 (1,036名)、1回平均7.8組 (11.77名) だった。 《中止》 10月16日(水) 台風26号接近のため中止 12月26日(木) スタッフ都合により中止 《会場の変更》</p>

31

8月 1, 7, 8, 21, 22, 28, 29

9月 4, 5, 11, 12, 18, 19, 25, 26

10月 2, 3, 9, 10, 16, 17, 23, 24,
30, 31

11月 6, 7, 13, 14, 20, 21, 27, 28

12月 4, 5, 11, 12, 18, 19, 25, 26

1月 9, 15, 16, 22, 23, 29, 30

2月 5, 6, 12, 13, 18, 20, 26, 27

②出前ゆめの木（中部コミュニティセンター）

毎月第3(金) 午前10時から11時30分。

5月は1日(水)、1月はなし。

4月と8月は、シェイクハンズとのコラボ
企画「木のおもちゃで遊ぼう！」を開催。

《日程》 全10回

4月5日、5月1日、6月7日、7月5日、
8月2日、9月6日、10月4日、
11月1日、12月6日、2月7日

③ゆめの木サンデー（富田会場）

毎月第3(日) 午前11時から午後3時。

8月はなし。

《日程》 全10回

4月21日、5月19日、6月16日、7月
14日、9月15日、10月20日、11月17
日、12月15日、1月19日、2月16日

7月25日(木) 会場を子ども村に変更

8月22日(木) 同上

9月18日(水) 同上

②出前ゆめの木（中部コミュニティセンター）

計画通り10回実施。変更、中止なし。
参加人数は、のべ206組（410名）、1回
平均20.6組（41名）だった。

4月5日、「木のおもちゃで遊ぼう！」実
施。会場にて参加者に向け子育て支援課
担当職員が挨拶。活動の様子を市広報課
が取材。

8月2日、「木のおもちゃで遊ぼう！」(第
2回)実施。

市広報課が取材。「広報大網白里9月号」
に活動の様子が掲載されました。

12月6日、大網白里町づくりサポートセ
ンター林理事が活動を視察。

③ゆめの木サンデー（富田会場および、
中部コミュニティセンター）

4月21日、5月19日、6月16日は計
画通り実施。会場および日時の変更はあつ
たが、計画通り10回実施。参加人数は、
のべ72組（141名）、1回平均7.2組（14.1
名）だった。

《会場および時間の変更》

近隣からの苦情により、実施会場を中部コ
ミュニティセンターに、実施時間を午後1
時から午後3時に変更。

《会場都合による日程の変更》

7月14日から7月21日に変更

9月15日から8月25日に変更

11月17日から11月10日に変更

<p>2. プロジェクト通信「児童館をつくろう」の発行、印刷、配布</p> <p>①内容 毎月下旬に発行し、当月の活動紹介と次月の活動予定を掲載。</p> <p>②設置および配布場所 「ゆめの木」および市役所1Fロビー、保健センター窓口横、中部コミュニティセンター、まちづくりサポートセンター。</p> <p>③オンライン公開 団体ホームページでカラー版を公開。児童館設立プロジェクトホームページ http://my.reset.jp/~kawabata/jdk/yumenoki.html</p> <p>3. 活動の告知</p> <p>①「広報大網白里」での告知</p> <p>②ポスター、チラシを作成 ポスターを作成し、市子育て支援課、保健センター窓口横、中部コミュニティセンター、協力店舗に掲示。 チラシを一般の親子等に配布し、活動への参加を呼び掛ける。</p> <p>③団体ホームページ、ツイッター等</p>	<p>2. プロジェクト通信「児童館をつくろう」の発行、配布</p> <p>①内容 概ね計画通り実施。夏休み前と年末前は、2カ月分の活動予定を掲載した特大号を発行し、次月休刊とした。 《発行日》 4月26日 第40号 5月30日 第41号 7月2日 第42号特大号 8月29日 第43号 9月27日 第44号 10月31日 第45号 12月3日 第46号特大号 2月4日 第47号 2月27日 第48号</p> <p>②設置および配布場所 計画した設置配布場所のほかに、市健康増進課のご協力により、毎月の乳児健診時に保護者へ配布。</p> <p>③オンライン公開 計画通り実施。</p> <p>3. 活動の告知</p> <p>①「広報大網白里」での告知 協働のまちづくり通信コーナーにて、毎月「出前ゆめの木」参加者募集を告知。</p> <p>②ポスター、チラシを作成 計画通り実施。</p> <p>③団体ホームページ、ツイッター等 定期的に「今週のゆめの木」「今月の出前ゆめの木」を投稿し活動予定を告知。活動中の状況も随時発信。</p>
---	--

<p>④大網白里市子育てハンドブック 「ゆめの木」に関する掲載内容確認。</p> <p>4. スタッフ定例ミーティングの実施</p> <p>①日時 毎月第1または第2週で調整。 12時30分から。8月はなし。</p> <p>②場所 ゆめの木 富田会場内</p> <p>③内容 1) 担当スタッフのシフト確認。 2) 活動日程の確認。 3) 前月の活動の反省。 4) 企画立案、準備打ち合わせ。 5) 住民協働事業定例会の報告。 6) 運営上の問題がある場合は、 対応を協議。</p> <p>5. 子育て支援課との打ち合わせ</p> <p>①定例報告 「出前ゆめの木」終了後、実施内容や問題点などの報告を行い、必要に応じて打ち合わせを行う。</p> <p>②臨時協議 協議が必要な問題が発生した場合は、すみやかに対応を協議する。</p>	<p>④大網白里市子育てハンドブック 子育て支援課作成の「ゆめの木」紹介原稿の内容を確認。</p> <p>4. スタッフ定例ミーティングの実施</p> <p>下記の日程で10回実施。 4月4日、5月16日、6月13日、 7月4日、9月11日、10月17日、 11月13日、12月11日、1月19日、 2月6日 欠席者については、議事録やメールで情報を共有し、円滑な事業運営を心掛けた。</p> <p>5. 子育て支援課との打ち合わせ</p> <p>①定例報告 概ね計画通り実施。</p> <p>②臨時協議 4月2日(火) 出前ゆめの木実施に関する打ち合わせ。 6月24日(月) ゆめの木に対する近隣住民からの苦情に対する対応を協議。 11月下旬から、平成26年度の協働について打ち合わせ。市住民協働事業への応募はせず、今年度の活動実績をもとに子育て支援課との協働を継続していくことを要望。 平成26年度「ゆめの木」実施計画を作成し、子育て支援課から会場の施設を年間予約。</p>
---	---

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価(☑)をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体

- 適正であった
- 概ね適正であった
- あまり適正でなかった

(理由)

計画した「ゆめの木」全 110 回のうち、やむを得ず中止した 2 回を除く 108 回を計画通り実施した。

通信紙発行については、特大号の発行により発行回数は当初計画より少なくなったが、紙面「ゆめの木カレンダー」により切れ目なく活動の告知を行うことができた。

活動紙以外での活動の告知、子育て支援課との情報共有、協議についても概ね計画通り遂行できた。

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

「子育て支援課との協働」を掲げることにより、団体および活動への認知度と信頼感が高まり、新規参加者およびリピーターが増加した。これは、活動の告知を行う際にも大変有効で、協働を行う以前と比べると、ポスターの掲示、チラシの配布、口頭での告知などを快諾していただけることが多くなった。担当課以外でも、協働という観点から、健康増進課において乳児健診の際に、団体情報紙であるプロジェクト通信「児童館をつくろう」を配布していただくなどご協力いただいた。

さらに、実施会場である中部コミュニティセンターを、子育て支援課より年間を通じて予約していただいたことにより、事業計画の安定した運営を行うことができた。昨年度までは、使用する前月にその都度使用の予約をしていたため、希望する日程に他団体の予約が入っていた場合は計画を変更しなければならず、スタッフの取りまとめに苦慮したり、参加者への告知が遅れるなどした。今年度は、年間を通じて使用予定が確定したため、それらの不都合が解消し、余裕のある告知や準備ができたことも参加者の増加の一因となった。

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 強化、活性化した <input type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した <input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった (理由) 「ゆめの木」の新規参加者およびリピーターが増加した。 事業計画を安定して実行することができた。 年間を通じた実施日程を告知することができ、参加者の利便が向上した。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

現在、市内には地域子育て支援センター、すくすくひろば、園庭解放、子育てサロンなど親子で参加できる子育て支援事業がいくつかあるが、今回の協働により「ゆめの木」が選択肢のひとつとして認知され、参加者が増加した。活動内容に対しても好評で、ママ目線を重視した親しみやすさと、協働事業という信頼感があいまって、充実した活動となった。

前項【④継続性】でも記載した通り、協働による団体および活動への認知度や信頼感の高まりと事業の安定した運営は、協働による効果である。これらは、参加者の利便や満足度の向上につながったと考えられる。

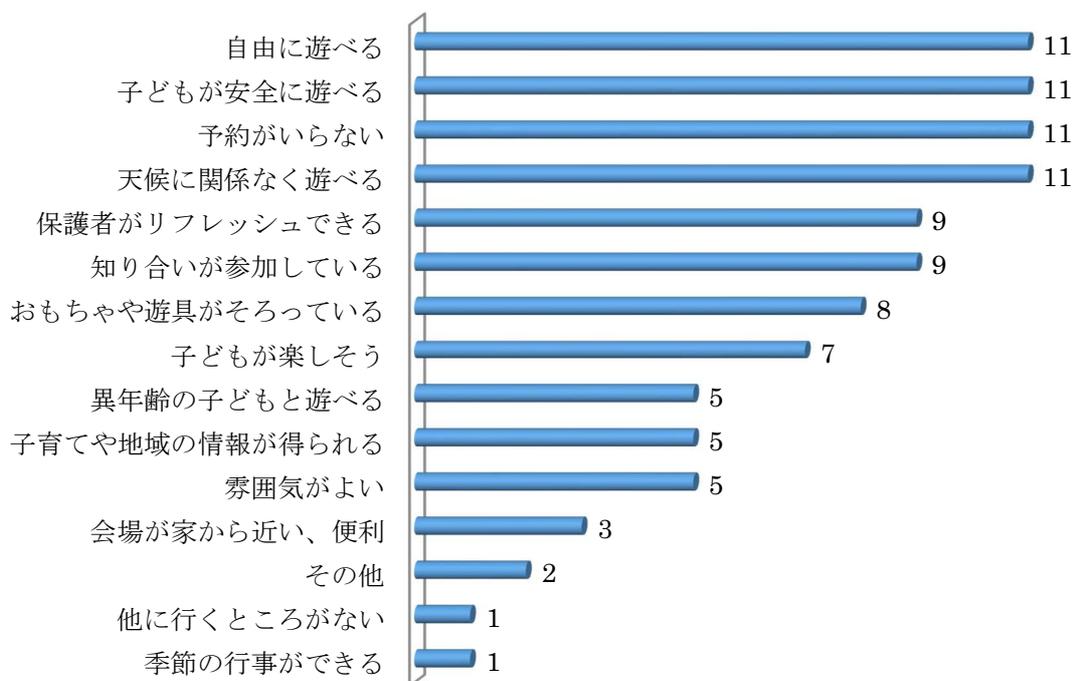
また、協働事業の実施により、活動内容や参加者の声を直接行政に示すことができたこと、逆に行政の取り組みについて私たちが興味を持ち、深く考えることができたことは、とても良かった。

平成 26 年 2 月に、「ゆめの木」「出前ゆめの木」「ゆめの木サンデー」参加者に対しアンケート調査を行った（回答数 25）。

「ゆめの木」に参加する理由として最も多かった答えは、自由に遊べる、子どもが安全

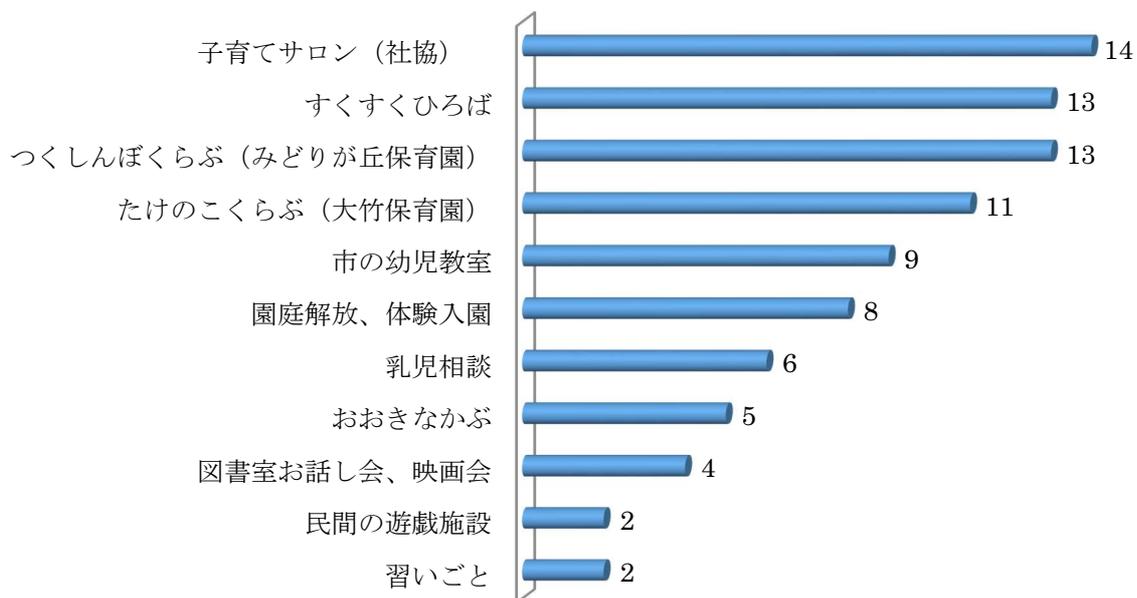
に遊べる、予約がいない、天候に関係なく遊べるだった。次に、保護者がリフレッシュできる、知り合いが参加しているが続き、気軽に参加できて保護者も息抜きができる雰囲気の評価されていることがわかった。

「ゆめの木」に参加する理由



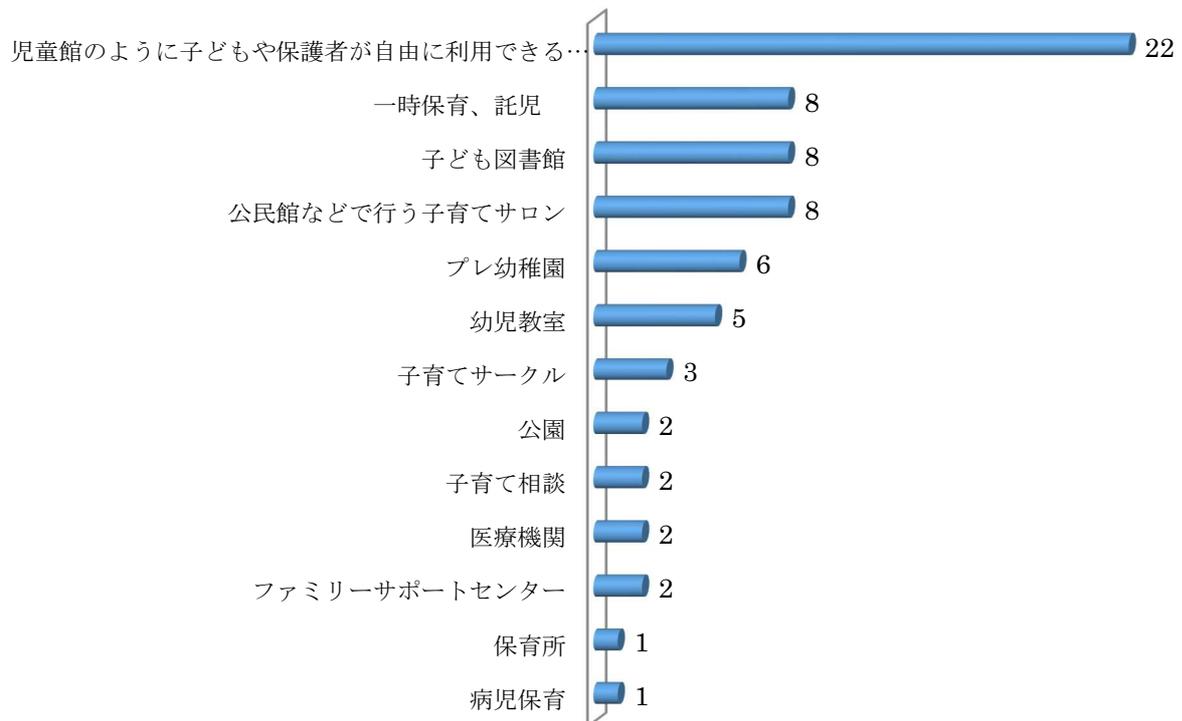
また、市内の子育て関連施設やサービスで、利用したことがあるものでは、子育てサロン（社協）、すくすくひろば（健康増進課）、つくしんぼくらぶ（みどりが丘保育園）が多かった。ほとんどの人が複数の施設やサービスを利用しており、家庭の都合や子どもの様子に合わせて選択して利用していること、また「ゆめの木」も選択肢の一つとして認知されているという印象を受けた。

利用したことがある子育て関連施設



最後に、市内にどのような子育て関連施設やサービスが欲しいかを質問したところ、児童館のように子どもや保護者が自由に利用できる施設という回答が最も多かった。先の質問の答えと合わせると、子どもが自由に安全に天候に関係なく遊べて、予約不要で、保護者もリフレッシュでき、さらに子育てや地域の情報が得られるような交流の場を求めていると考えられる。

こんな施設がほしい！



これらの結果を行政と共有し、次年度においても参加者の満足度が得られる活動を継続していきたいと考えている。

市（関係課）

・市との協働事業であることにより、公的施設を会場として優先的に確保できた。それにより、広報等で事前に開催日程を周知することで、参加者の増加につながった。

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<p><input checked="" type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p> <p>「ゆめの木」の認知度や信頼感が高まり、参加者が増加した。</p> <p>行政の取り組みについて知ることができ、相互理解が深まった。</p>	<p><input type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p>